

■熊野外国人観光客交通対策の取組の概要（平成29年度）

1. 取組みの目的

- ・世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を訪れる外国人観光客は増加しており、今後も大きな誘客が期待されている。
- ・当該地域を訪れる多くの外国人観光客は、熊野古道を歩くことを大きな魅力としており、二次交通の利便性の向上が非常に重要な要素であるが、当該地域を運行する公共交通機関（路線バス事業者4社・JR）の表示が事業者・場所により異なり分かりにくい状況にある。
- ・このため、交通拠点における二次交通に関する案内情報や、路線バス事業者の連携した取組によるエリア全体での外国人観光客にも分かりやすい多言語表記等について共通ルールの整備を行いつつ、情報発信の充実に取り組むことにより、外国人観光客の誘客と広域周遊の促進を図るものとする

2. 課題（現地調査・整備前アンケート調査より）

1. 利用している情報源

- ①観光案内所やバス停で情報を得ている観光客が多い
- ②路線検索サイトによる補足を必要とする観光客も多い

2. 必要な情報

- 《バス停》
- ①路線図などバス停の位置関係が分かる案内
 - ②運賃の支払い方や時刻表の案内
 - ③バス停周辺の観光地の情報など現地周辺に関する案内
- 《バス車内》
- ①路線図の掲示が特に求められている
 - ②運賃の支払い方の案内
 - ③次のバス停・運賃の分かりやすい案内

3. 旅行者の特徴

- ①田辺、新宮、那智勝浦を周遊する個人旅行者が多いこと
- ②国籍は多岐に渡るが英語を母国語とする方が多いこと
- ③はじめての訪問者が9割以上であること

3. 整備方針（共通整備ガイド）の検討（協議会開催）

取組事項の方向性

◆前提とするポイント

- ①熊野地域全体を把握できる共通した情報・デザイン（路線図、時刻表等）
- ②はじめて訪れる方にもシンプルで分かりやすいサインを活用
- ③大きな文字での英語情報の充実

1. 交通拠点（二次交通の乗り換え拠点）

- ①駅等から観光案内所までの連続した誘導表示
- ②複数あるバス乗り場のナンバリング、誘導表示
- ③二次交通情報の分かる説明しやすいツールの整備（各拠点ごと）

2. バス停の情報充実

- ①路線図、運賃の支払い方、時刻表、現地周辺に関する案内の掲示

3. バス車内の情報充実

- ①路線図、運賃の支払い方の掲示
- ②次のバス停・運賃の分かりやすい案内方法の検討

4. その他

- ①バス停留所の名称統一
- ②路線検索サイトを活用した情報提供とその活用

4. 整備方針（ガイド）

項目	課題	整備方針
①交通拠点からバス停等への連続した案内表示	<ul style="list-style-type: none"> ・駅からバス乗車場所、観光案内所、コインロッカー等への案内表示の連続性が不十分 ・外国人観光客は観光案内所で案内情報を取得 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅からバス乗車場所、観光案内所、トイレ、コインロッカー等までスムーズに移動できるように<u>連続した案内を掲示</u> ・<u>ピクトグラムを活用し</u>、一目で目的地点がわかるように案内を掲示 ・<u>案内の大きさ、文字サイズ、カラーリングを統一</u>
②バス停の案内表示	<ul style="list-style-type: none"> ・バス会社ごとの時刻表・路線図等は様式も異なるため、わかりにくい ・1カ所に複数あるバス停は乗りたいバスを探しにくい ・路線図、料金の支払い方、周辺の観光地情報が求められている <p>◆バス停名称の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正式な駅名と名称が異なる ・他のバス停と名称が異なる ・観光地と似ているバス停がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・路線への<u>系統番号</u>の付加 ・熊野地域全体の<u>路線図</u>の作成 ・バス停情報の整備 (時刻表・主要停留所案内・路線図・周辺案内図・運賃乗降方法) ・時刻表の<u>フォーマット</u>作成 ・<u>バス停名称の統合・変更</u> <p>・バス会社によって、バス停名称が異なるバス停は、<u>名称を統一</u></p> <p>・駅名をバス停名称としているバス停は、<u>駅名の正式名称に統一</u></p> <p>・最寄りの観光地をイメージできないバス停は、<u>観光地をイメージできるバス停名称への変更も検討</u></p> <p>・<u>観光地との違いが分かりやすいバス停名称への変更も検討</u></p>
③バス車両の外面の表示	<ul style="list-style-type: none"> ・バス車両は、表示板への多言語対応などバス会社や車両によっても様々 ・一目でどこが目的地か判断できない ・バス車両の行き先表示への不満あり 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの外からでもバス車両の行き先がわかるように、<u>表示板に系統番号を表示</u> ・行き先表示には、日本語だけでなく、英語表示も記載
④バス車内の案内（掲示物、音声ガイド、液晶モニター）表示	<ul style="list-style-type: none"> ・路線図や運賃の支払い方法の掲示、車内での音声案内、モニター表示の多言語対応の充実が求められている ・各種情報の充実と内容の統一が求められている 	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示物には、日本語に英語表示を併記 ・アナウンスには、日本語と英語でのアナウンス ・車内のアナウンスを流してバス停情報を補足 ・液晶モニターでは、多言語対応（日本語、英語）とし、次停車停留所名称、運賃額の情報を提供
⑤バス停から目的地までの案内	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地の最寄りのバス停から、目的地までのルートが分かりにくい ・現在、バス停には周辺観光案内図見られない 	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停等に<u>周辺の観光案内図</u>を掲示 ・バス停周辺の観光案内所などがどこにあるかわかるように、<u>案内サイン</u>を掲示
⑥パンフレット・WEB等での交通情報	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな観光客の誘客や再訪を促進や熊野地域のPRのためにも情報発信のツールとしてガイドブックの作成が必要 ・路線検索サイトで情報を得ている観光客は多いため、オープンデータの充実も必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・バス路線図や観光地の周遊ルート等を記載した多言語対応（日本語・英語）<u>ガイドマップ</u>を作成 ・各バス会社の案内情報などが変更された場合は、情報を早急に更新し、<u>常に最新の情報を提示</u> ・スマートフォンを利用した時刻検索・乗り換え案内への対応

5.整備概要（H29年度）

【共通の路線図等】

（1）共通の路線図等

- 各社ばらばらであった路線図を1つにまとめて共通の路線図を作成
- 系統番号を導入して、番号で路線を区別



路線名	起点	終点	経路	系統番号	路線名	起点	終点	経路	系統番号
熊野本宮線	熊野本宮	本宮大社	熊野本宮 - 本宮大社	81	川丈線	新宮	高田	新宮 - 高田	82
聖地巡礼バス	熊野本宮	本宮大社	熊野本宮 - 本宮大社	83	高田線	高田	新宮	高田 - 新宮	84
快速熊野古道号	熊野本宮	本宮大社	熊野本宮 - 本宮大社	85	新宮小口線	新宮	小口	新宮 - 小口	86
特急熊野古道号	熊野本宮	本宮大社	熊野本宮 - 本宮大社	94	志志線	志志	新宮	志志 - 新宮	87
八木新宮線	八木	新宮	八木 - 新宮	95	紀伊新宮線	紀伊新宮	新宮	紀伊新宮 - 新宮	88

【交通拠点の整備】

- 駅からバス乗り場、観光案内所までの多言語案内情報の充実、外国語表記・ピクトグラム、カラーリングの統一（複数に分かれているバス乗り場には、行先ごとに番号を振る）

【紀伊田辺駅】

整備前	整備イメージ
<ul style="list-style-type: none"> 系統番号の追加 熊野古道への誘導案内を追加 明光バス（快速熊野古道号）（滝尻栗栖川方面） 龍神バス（熊野本宮線） 	

【本宮大社前】

整備前	整備イメージ
<ul style="list-style-type: none"> 2つに分かれていた乗り場を1つに集約 行き先ごとの乗り場を整備 系統番号を追加 明光バス（快速熊野古道号） 龍神バス（熊野本宮線） 熊野交通（川丈線） 奈良交通（八木新宮線） 	

【バス停・バス掲示板の整備】

- 新しく作成した路線図、分かりやすい運賃の支払い方、バス停周辺の案内情報の掲示
- 複数のバス会社（今年度は明光バス、龍神自動車）の時刻を1枚にまとめて共通の時刻表、主要停留所案内を掲示

明光バス

龍神自動車

【共通の時刻表】

【バス停名称の統一】

- バス会社で異なっていたバス停名称（日本語・ローマ字）を整理して名称の統一
- 観光客に分かりにくいバス停名称を変更

【名称リスト】

番号	旧名称	読み	漢字	読み仮名(カタカナ)	ローマ字
1	湯峰温泉	湯の峰温泉	湯の峰温泉	Yunohane Onsen	Yunohane Onsen
2	熊野本宮	大日越登り口	大日越登り口	Ohinokobori	Ohinokobori
3	勝浦駅	紀伊勝浦駅	紀伊勝浦駅	Kii-Shingo Sta.	Kii-Shingo Sta.

【名称の変更】

現在名称	変更(案)	理由	備考
湯峰温泉	湯の峰温泉	読み方に合わせ「の」を付ける	龍神
熊野本宮	大日越登り口	観光地との違いが分かりやすいバス停名称への変更	熊野・奈良
勝浦駅	紀伊勝浦駅	駅名の正式名称に統一する	熊野

【その他（情報発信）】

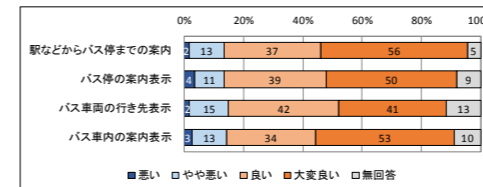
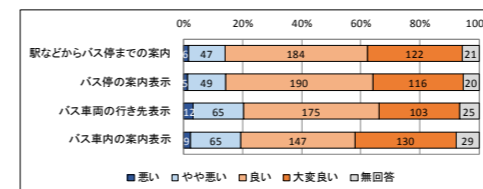
- バスの新しい路線図、乗り方などを掲載した情報冊子を製作



6.整備後の評価（整備後アンケート調査・モニター調査より）

●アンケート調査より

- 整備後のアンケートでは、「大変良い」の割合が大きく上がっている。



上段：整備前、下段：整備後

●モニター調査（整備箇所の確認）より

- バス乗り場の行き先案内板、時刻表等が番号・色で分けて表示されており、とても分かりやすい
- 駅構内の総合案内マップは分かりやすいが、もっと目立つように掲示物を整理したり、掲示位置を変更すると良い。
- 整備された時刻表の様式は会社毎ではなく、1つにまとまっておりとても見やすい



など

7.次年度以降の取組

- 共通整備ガイドの内容のさらなる充実を図りながら、以下の取組を進めていく。

【交通拠点】

- 未整備個所の案内情報の整備を継続すること

【バス停】

- 未整備個所のバス停掲示内容の整備を継続すること
- バス停名称の統一・複数に分かれているバス停の統合について検討を継続すること
- バス停のナンバリング導入を検討すること

【その他】

- バス車両における液晶モニターの導入・多言語案内の充実を図ること
- その他、ITCを活用した情報発信、バス・タクシー・レンタカーとの連携等